

令和 8 年度 病院構造改革推進方策実施計画概要

令和 8 年 3 月
病院局

1. 目次

1	目次	1
2	令和8年度実施計画の概要	
	①前年度（令和7年度）計画からの計画目標等の内容変更 について	2
	②粒子線医療センターの廃止日の決定について	4
	③計画目標（定量）の数値設定について	7

① 前年度（R7年度）計画からの計画目標等の内容変更について

【概要】

第5次病院構造改革推進方策(R6～R10)の策定期間の3年目となる令和8年度実施計画においては令和7年度実施計画の記載内容から状況変化を適切に反映するため、計画目標等の一部変更を行った。

[以下、主な変更点]

1 医療の質の更なる向上-(1)診療機能の高度化（循環器疾患医療）(P4)

資料2のページです
(以下同様)

変更箇所	変更内容	変更理由
計画目標 (定量)	(令和7年度実施計画 変更前) ・脳動脈瘤クリッピング術実施件数(延件) ・脳動脈瘤コイル塞栓術実施件数(延件) ↓ (令和8年度実施計画 変更後) ・脳動脈瘤に対する手術実施件数(延件)	【実態に合わせて見直し】 ※R6点検・評価の結果を反映 脳動脈瘤の手術療法がクリッピング術からコイル塞栓術等、他の術式にシフトしているため実施件数が減少。一方、コイル塞栓術は前年度実績から堅調に増加(+10%)していることを踏まえ、脳動脈瘤に対する治療実績を適切に反映できるよう指標を変更

① 前年度（R7年度）計画からの計画目標等の内容変更について

1 医療の質の更なる向上-(2)機能分化・連携強化（P13）

変更箇所	変更内容	変更理由
計画目標 (定量)	<p>(令和7年度実施計画 変更前)</p> <ul style="list-style-type: none"> 逆紹介率 (%) <p>[計算方法]</p> $\text{逆紹介患者数} / \text{初診患者数} \times 100$ <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(令和8年度実施計画 変更後)</p> <ul style="list-style-type: none"> 逆紹介割合 (‰) <p>[計算方法]</p> $\text{逆紹介患者数} / (\text{初診} + \text{再診患者数}) \times 1,000$	<p>【実態に合わせて見直し】</p> <p>令和4年度の診療報酬改定から初診料・外来診療料に使用する数値が、「逆紹介率 (%)」から再診患者数も計算式に含めた「逆紹介割合 (‰)」に変更になっており、その変更に合わせて、本計画も見直す。</p> <p>なお、機能分化・連携強化を図る指標としてはどちらも変わらない。</p>

3 収支構造の最適化-(2)適正な設備投資・施設管理（P23）

変更箇所	変更内容	変更理由
計画目標	<p>(令和7年度実施計画 変更前)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高額医療機器について、計画的な整備を推進する。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(令和8年度実施計画 変更後)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高額医療機器については、厳しい経営状況を踏まえて改めて必要性等を検証し、診療機能の維持・向上に必要な機器に厳選して整備を行う。 	<p>【実態に合わせて修正】</p> <p>厳しい経営環境を踏まえ、設備投資についての方針を修正。</p>

・各病院の取組・指標についても、状況に合わせて更新を実施（P32～）

② 粒子線医療センターの廃止日の決定について

【概要】

第2回病院構造改革委員会において病院構造改革推進方策を改定し、粒子線医療センターの廃止日について、「令和9年度末までに」としていたところ、**廃止日を、令和10年3月31日（令和9年度末）と決定した。**

決定にあわせ、実施計画の関係部分を、令和9年度末の廃止に向けて令和8年度に取り組む内容（廃止に向けた手続きや、廃止後の粒子線治療機会確保の取組）へと変更する。

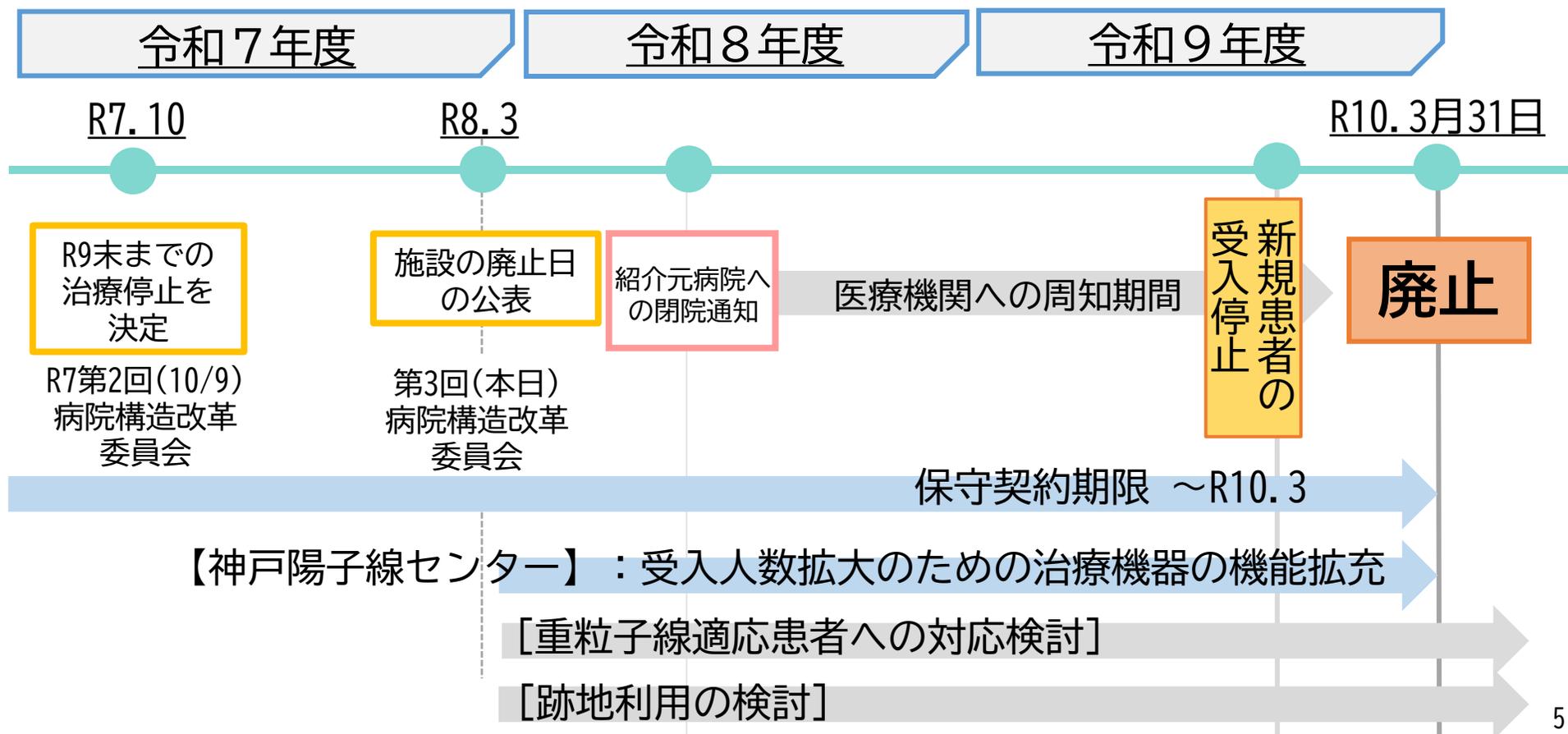
【現在の方針（第5次病院構造改革推進方策）】

粒子線医療センターは、「粒子線医療センターのあり方検討委員会」からの提言を踏まえ、施設の保守契約期限である**令和9年度末までに現地施設での治療を停止することとし、今後、県民への粒子線治療機会を確保するための方策を検討する。**

② 粒子線医療センターの廃止日の決定について

【決定理由】

- ①粒子線医療センターの治療装置の保守契約が令和10年3月末（令和9年度末）まで有効であること、②神戸陽子線センターにおける受入患者数拡大に向けた治療機器の機能拡充に、令和8年から令和9年度末までの2年間に要することを踏まえ、**県内で粒子線治療を希望する患者に対し、可能な限り医療を提供し続けられるよう、廃止日を令和10年3月31日（令和9年度末）とする。**



② 粒子線医療センターの廃止日の決定について

粒子線医療センターの廃止に伴い、以下の概要を令和8年度実施計画に明記した。

3 収支構造の最適化 (1)抜本的な経営改革に係る取組(P21・22)

- ① 施設の廃止日を令和9年度末(令和10年3月31日)とする。【R7年度計画から変更】
- ② 廃止に向けた手続きのほか、土地・建物の活用策や県民への粒子線治療機会を確保するための方策について検討する。【R7年度計画から変更】

各病院の取組・指標(10-1) 粒子線医療センター(P67)

- ③ 粒子線医療センターは、令和9年度末の廃止に向けた準備を計画的に進めるとともに、治療停止にあたり混乱が生じないよう患者や関係医療機関に対して丁寧な情報提供に努める。【R8年度計画新規】
- ④ 粒子線医療センターは、令和9年度末までの間、引き続き安全で質の高い医療の提供に努め、患者が安心して治療を継続できる体制を維持する。【R8年度計画新規】

各病院の取組・指標(10-2) 粒子線医療センター附属神戸陽子線センター(P69)

- ⑤ 神戸陽子線センターは、粒子線医療センターでの治療停止後も、陽子線治療適応患者を円滑に受け入れられるよう治療装置の機能拡充を行うとともに、粒子線医療センターで治療した患者のうち、希望する患者については、経過観察を継続できるよう、受入体制の整備を計画的に進める。【R8年度計画新規】

③ 計画目標（定量）の数値設定について

【概要】

外来・入院患者数や、手術件数等の計画目標（定量）は、対象診療科の医師等の人数減などやむを得ない場合を除き、**厳しい経営状況への対応と計画目標数値の達成の実現性の両立が可能な範囲を見極めつつ、令和7年度の実績見込み値（もしくは令和5～7年平均値）以上の計画目標を設定**した。ただし、「小児・周産期医療」については、出生率の低下等の状況を踏まえ、実態に即した目標設定とした。

1. 医療の質の更なる向上（1）診療機能の高度化 ・がん医療（P2）

計画目標（定量）	R7計画	R7見込(A)	R8計画(B)	増減(B-A)	減の要因
院内がん登録数（件）	11,488	12,824	12,633	▲ 191	乳腺外科医師の減
がん手術総件数（延件）	7,407	7,028	7,293	265	
化学療法延患者数（延人）	28,634	39,662	41,583	1,921	
放射線治療延患者数（延人）	27,814	25,767	28,062	2,295	
緩和ケアチーム新規介入患者数（延人）	1,210	1,309	1,340	31	
カンサーボード実施回数（回）	600	600	600	0	
がん相談総件数（延件）	6,010	6,154	6,051	▲ 103	がん相談員の減

③ 計画目標（定量）の数値設定について

・循環器疾患医療（P4）

計画目標（定量）	R7計画	R7見込(A)	R8計画(B)	増減(B-A)	減の要因	
経皮的冠動脈インターベンション（PCI）実施件数（延件）	1,155	1,065	1,078	13		
虚血性心疾患に対する心臓血管外科手術件数（延件）	120	101	99	▲ 2		※R5～R7平均並（尼崎）
脳動脈瘤に対する手術実施件数（延件）	67	194	210	16		
t-PAによる血栓溶解法実施件数（延件）	77	56	60	4		
脳血管内治療（経皮的脳血栓回収療法等）実施件数（延件）	242	192	234	42		

・糖尿病医療（P5）

計画目標（定量）	R7計画	R7見込(A)	R8計画(B)	増減(B-A)	減の要因
糖尿病新規入院患者数（延人）	711	560	560	0	
糖尿病教育入院の実患者数（延人）	466	394	383	▲ 11	

・精神医療（P6）

計画目標（定量）	R7計画	R7見込(A)	R8計画(B)	増減(B-A)	減の要因
新規入院患者数（精神）（延人）	1,539	1,601	1,609	8	

・救急・災害医療（P7）

計画目標（定量）	R7計画	R7見込(A)	R8計画(B)	増減(B-A)	減の要因
救急車搬送患者数（人）	37,443	35,846	37,698	1,852	
うち重篤患者数（高度救命救急センター及び救命救急センター）（人）	5,917	6,966	7,192	226	

③ 計画目標（定量）の数値設定について

・小児・周産期医療（P8）

計画目標（定量）	R7計画	R7見込(A)	R8計画(B)	増減(B-A)	減の要因
小児の救急車搬送患者数(人)	7,887	6,754	6,816	62	
ハイリスク妊婦受入人数(人)	602	582	584	2	
母胎搬送受入人数(人)	251	299	300	1	
2,500g未満の新生児実入院患者数(人)	592	534	543	9	
新生児の搬送受入総数(人)	317	301	301	0	

・へき地医療（P9）

計画目標（定量）	R7計画	R7見込(A)	R8計画(B)	増減	減の要因
へき地医療機関への医師派遣日数(日)	126	229	203	▲ 26	※派遣体制の調整中（淡路）

・臨床研究（P12）

計画目標（定量）	R7計画	R7見込(A)	R8計画(B)	増減(B-A)	減の要因
受託研究の件数（延件）	606	500	514	14	
治験の件数（延件）	221	218	220	2	

1. 医療の質の更なる向上（2）機能分化・連携強化（P13）

計画目標（定量）	R7計画	R7見込(A)	R8計画(B)	増減(B-A)	減の要因
紹介率（%）	81.2	84.4	85.3	0.9	
逆紹介割合（%）	—	68.5	68.6	0.1	
逆紹介率（%）※粒子・神戸陽子	—	100.0	100.0	0.0	

1. 医療の質の更なる向上（3）診療の効率化と安全な医療の両立（P15）

計画目標（定量）	R7計画	R7見込(A)	R8計画(B)	増減(B-A)	減の要因
クリニカルパス適用率（%）	58.4	60.7	62.3	1.6	
PFMアセスメント率（%）	87.5	85.5	87.4	1.9	

③ 計画目標（定量）の数値設定について

3. 収支構造の最適化（1）抜本的な経営改革に係る取組

計画目標（定量）	R7計画	R7見込(A)	R8計画(B)	増減(B-A)
経常損益（百万円）	▲ 8,392	▲ 12,030	▲ 9,378	2,652
経常収支比率（%）	95.5	93.7	95.3	1.6
医業収支比率（%）	83.8	81.0	84.3	3.3
（参考）修正医業収支比率（%）	82.1	79.3	82.7	3.4
病床稼働率（%）	87.1	85.3	88.4	3.1
1日あたり入院患者数（人）	3,351	3,282	3,451	169
1日あたり外来患者数（人）	7,370	7,057	7,691	634
入院単価（円）	84,208	85,346	87,210	1,864
外来単価（円）	24,997	25,686	26,180	494
給与費比率（%）	59.8	61.7	60.3	▲ 1.4
材料費比率（%）	34.7	35.8	34.6	▲ 1.2
うち薬品費比率（%）	20.5	21.2	20.6	▲ 0.6
うち診療材料費比率（%）	13.6	14.0	13.3	▲ 0.7
経費比率（%）	19.1	20.2	18.9	▲ 1.3
未収金の新規発生率（%）	0.06	0.06	0.06	0.0
後発医薬品数量シェア（%以上）	96.0	96.7	96.7	0
バイオシミラー数量80%以上シェアの成分数の割合（%以上）	60.0	55.6	60.0	1.2

3. 収支構造の最適化（2）適正な設備投資・施設管理

計画目標（定量）	R7計画	R7見込(A)	R8計画(B)	増減(B-A)
高額医療機器調達率（対予算比）（%）	93.0	86.2	86.6	0.4
一括保守契約による高額医療機器の保守費用削減率（%）	24.7	24.7	24.9	0.2

③ 計画目標（定量）の数値設定について

4. 収支構造の最適化（1）医師・看護師等の県立病院を支える医療人材の確保・育成

計画目標（定量）	R7計画	R7見込(A)	R8計画(B)	増減(B-A)
臨床研修医採用数（人）	75	75	76	1
専攻医新規採用数（人）	98	98	100	2
看護師新規採用者数（人）	320	302	200	▲ 102

4. 収支構造の最適化（2）医師・看護師等の県立病院を支える医療人材の確保・育成

計画目標（定量）	R7計画	R7見込(A)	R8計画(B)	増減(B-A)
時間外労働が年960時間を超える医師（％）	4.0	6.0	5.4	▲ 0.6